

質疑・答弁

決算特別委員会での主な

第3回定例会初日の9月5日、町長から提案された令和4年度城里町決算（6会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

予算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月6日に委員会を開催し、令和4年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

歳入

問 森林環境譲与税の使い道は。

答 国から譲与された森林環境譲与税は基金に積み立てし、その基金を取り崩して塩子地区の森林管理について現況調査を実施しました。

問 入浴施設ごとの入湯税の内訳は。

答 町内には入浴施設が2ヶ所あり、ホロルの湯は13万8,486人で2,077万2,900円、水戸温泉開発（水戸レイクス）は、7,474人で112万1,100円の入湯税です。

歳出

問 ふるさと応援寄附金の実績は。

答 令和3年度の寄附件数は180件で、寄附金は450万3千円だったが、令和4年度は寄附件数が1,507件で、寄附金は1,762万

9,400円になりました。

問 ふるさと応援寄附金が増えた理由は。

答 増えた要因の一つに、返礼品のお米の種類を増やしたり、ふれあいの里のキャンプ場の早期予約枠を追加したこと等が考えられます。

問 七会町民センター管理運営事業で、バーベキュー場の維持管理費と利用収入額は。

答 維持管理に480万円かかり、利用収入は32万5,380円でした。

問 旧老人福祉センターの除草事業で、町内には旧老人福祉センターが3ヶ所あるが、金額の内訳は。

答 旧やまゆり荘は27万6,600円、旧桂老人福祉センターは38万600円、旧高田荘は69万800円の除草費用がかかっています。

問 住宅の新築工事等を行った方への補助実績が2件と少ないが、なぜか。

答 町内の業者が請け負って建てた住宅でないこと、補助の対象にならないことから、件数が少ないと考えられます。

問 国民健康保険特別会計（後期高齢者医療特別会計）質疑はありませんでした。

問 介護保険特別会計

問 過疎地域では、介護事業を社会福祉協議会が行うことで事業が成り立っている現状があると聞く。町内の訪問介護事業者数と、今後の介護サービス状況について。

答 町内には訪問介護事業所が3ヶ所あり、中でも実績を上げているのが町社会福祉協議会です。ヘルパー登録平均年齢が65歳で、最高齢は75歳のため、身体的介護（入浴介助等）サービスの提供は難しくなってくるかもしれないと聞いています。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月7日に委員会を開催し、令和4年度一般会計決算の所管分・水道事業会計・下水道事業会計の決算について審査しました。



教育産業常任委員会の審議状況

歳入

問 町営住宅の使用料の収入未済額は。

答 現年度分は137万4,900円、過年度分は4,402万400円の収入未済となっています。

問 学校給食費の収入未済の対象者は。

答 給食費無料化になる前の、平成14年から平成29年度に在学していた児童100名が対象です。

問 中山間地域所得確保推進事業の取り組みと成果は。

答 古内茶生産組合の所得向上のため、生産販売戦略の検討等を行った事業で、栽培講習会の実施、県の圃場確認を行ったことにより、今年度は品質がよくなり、売上も伸びていると聞いています。

問 放牧場の利用状況は。

答 放牧場は町内に3ヶ所あり、鍛冶屋沢放牧場は4頭、矢の目沢放牧場は3頭、小勝放牧場は5頭の利用となっており、年々利用が減っています。

問 町営住宅修繕事業の内容は。

答 茨城県住宅管理センターに、町営住宅の維持工事、退去後の修繕工事を委託している事業です。南団地・米沢団地については取り壊しを予定しているため、大掛かりな修繕工事はせず、必要最低限の修繕をしています。

(水道事業会計)

問 水戸市に比べて水道料金が高いのはなぜか。

答 茨城県内の水道料金の指標だと、城里町の水道料金は、県内でも中間の水準であり、決して高い訳ではありません。しかし、隣接する水戸市は県内でも水道料金が安いと、城里町に転入したときにより高いと感じるようです。

(下水道事業会計)

問 農業集落排水の今後について。

答 現在、上入野、青山、古内、北方、高久、孫根地区で農業集落排水事業を行っています。上入野地区については、供用開始から25年以上経過し、老朽化も進んでいることから、総合的に判断し、流域下水道に接続することで、農業集落排水事業を廃止する予定です。

歳出

問 農地地図管理事業の内容は。

答 8月に農業委員14名と、最適化推進委員16名でタブレットを活用した荒廃農地の現地確認を行いました。農地面積2,846haのうち、荒廃農地は276haと全体の9.7%が荒廃農地という結果でした。

問 町道維持補修事業で、区長要望に対しての実施状況は。

答 令和4年度の実績で、区長要望は165件で、一般の方からの通報も含め212件の要望のうち、84%の179件について修繕等を実施しました。

問 適応指導事業の運営状況と利用状況は。

答 不登校の児童生徒に授業等を行い、学校に復帰できるように支援する事業で、「うぐいすの広場」として、室長1名、指導員2名の体制で行いました。うぐいすの広場に通う小学生は9名、中学生は7名です。相談実績は、相談者が27名で、電話や学校訪問、うぐいすの広場においての相談件数が3,132件でした。